

令和7年7月8日（火曜日）

豊後高田市立田染中学校 河野 美紅先生の授業です。

授業の単元は、第2学年「連立方程式」。二人の人が池の周りを走る際、同時に出発し、同じ方向に進んだ場合と逆の方向に進んだ場合に追いつくまでの時間や出会うまでの時間が与えられ、それぞれの速さを求める場面でした。

導入では、ホワイトボードやマグネットをペアに渡し、実際に二人の人がどのような動きをするのかを操作活動を通して、理解させる工夫がなされ、問題場面を理解させるための丁寧な取組が見られました。

連立方程式の立式に難しさを感じる生徒がいるため、(Aさんの進んだ距離) + (Bさんの進んだ距離) = (池1周分の距離) など言葉の式と図を結びつけながら立式を行えるような手立てを準備していました。

また、授業では生徒が「分からない」と言える雰囲気づくりがなされているように感じました。河野先生は、普段から生徒が困りを感じていれば積極的に関わるなどし、生徒が安心して相談できるように努めているとのことでした。

事後研では、管理職の先生も参加し、他教科との教科横断的な視点も含めての話し合いを行う中で、速さ、時間、道のりの関係などをただ覚えているだけで、意味理解がなされていないことにより、生徒が具体的な場面で活用ができていないのではないかなどの意見が出されました。

今後も生徒に寄り添い、生徒が安心して授業や学校生活を送ることができるように支援を続けていってくださることを願っています。

